

弱溶剤2液形ハルスハイリッチ
無機有機ハイブリッド屋根用塗料

アレスダイナミックルーフMUKI

系 統 無機有機ハイブリッド樹脂屋根用塗料

適用規格 —

ホルムアルデヒド放散等級 —

特 長

- 以下の技術により卓越した耐候性を発揮します。
 - ①無機・有機樹脂の複合化技術
 - ②UVトラップ、HALSラジカルキャッチャー、ラジカルバリアコートによるラジカル(塗膜劣化因子)の抑制技術
- 強靱な塗膜により優れた耐久性を発揮します
- 親水化技術による超低汚染。
- 塗料用シンナーで希釈可能であり、臭気が少なく作業環境に優れています。
- 鉛・クロムを配合しておりません。
- 防カビ性、防藻性を有しています。

塗料性状

項 目	内 容
1 荷 姿	15kgセット ベース: 12.9kg 硬化剤: 2.1kg
2 混 合 比	ベース/硬化剤=6/1
3 色	標準色
4 つ や	つや有り
5 仕 上 が り 感	平 滑
6 塗 料 比 重	混合前:1.26(白) 混合後1.21(白)
7 溶 剤 比 重	0.84
8 加 熱 残 分	63%(白)
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10 労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	ベース: キシレン エチルベンゼン 硬化剤: —
11 有 機 則 / 特 化 則	ベース: 第3種有機溶剤等 硬化剤: 第3種有機溶剤等
12 消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	ベース: 第4類 第2石油類(非水溶性) 硬化剤: 第4類 第2石油類(非水溶性)
13 硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	イソシアネート

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

塗装条件

塗装方法	金属系素材	金属系素材	窯業系素材	窯業系素材
	はけ ローラー	エアレス スプレー	はけ ローラー	エアレス スプレー
希 積 率	0~10%	0~10%	0~10%	0~10%
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.12~0.14	0.12~0.14	0.15~0.25	0.15~0.25
希 積 剤	塗料用シンナーA			

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

項 目	温 度	
	23℃	
標準塗装間隔	最 短	4 時間
	最 長	7 日
使 用 時 限	8 時間	

主な適用素材

窯業系屋根素材(新生瓦、波形スレート)、カラータタン
(注:アスファルトシングルは除きます)

主な適用下塗塗料

アレスダイナミックシーラーマイルド、Mシリコンプライマー、浸透形Mシーラー、
ヤネ強化プライマーEPO、アレスルーフェボプライマー、ザウルスEX II、エスコ、
スーパーザウルス II、アレスルーフファイラー、アレスクールプライマー、アレスダイナ
ミックプライマー

主な適用中塗塗料

主な適用上塗塗料

使用上の注意事項

- 標準所要量は一般的な条件での塗装作業性に必要な塗料の参考値です。
従って被塗物の形状や塗装条件などによって増減します。
- 下地調整が不十分な場合には、塗膜の膨れ・割れ・剥がれの原因となったり、
光沢が出ないもしくは艶ムラが発生するなど仕上がりが不良が生じる恐れがありま
す。ホコリ・油・樹液などは塗装前に溶剤拭き・水洗い(温水)等で十分に除去し、
乾燥した清浄な面にしてください。特にトタンの折り曲げ部はホコリ・砂等が溜まり
やすいので入念な清掃を行ってください。
- 低温・多湿時に塗装し、未乾燥状態で夜露等に当たるとツヤ引けが生じることが
あります。
- 高温などの乾燥が早い環境下ではローラーによる発泡跡が残ることがあります。
強風時や降雨の予想される日の塗装、および気温が5℃以下、湿度85%以上と
なる日の塗装は避けてください。
- 希釈は必ず塗料用シンナーAを使用してください。
- 素地が結露したり、霧が発生するなどの時は塗装を行なわないでください。
- 被塗面が十分に乾燥していることを確認の上で塗装してください。
- ベース・硬化剤は湿気を吸いやすい為、保管場所・保管条件には十分注意
してください。
- ベースと硬化剤を調合したものは、8時間以内(23℃)に使い切ってください。
- 換気の良い場所で取り扱い、容器はその都度密栓して下さい。
- その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細については
SDS(安全データシート)を参照して下さい。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめ
ご了承ください。